

# 竹活用で新たな地域創生の取り組みを (会津若松市大戸地区)

伴走支援グループ

会津大学短期大学部 OOTOプロジェクト

報告者

鈴木優希菜・蓮沼倫子・石井茜・佐藤ムサシ・根本芙実  
吉田真由子・石田 太一・國分月那・半杭育子・矢野十鼓

# 目次

- 1.大戸地区の概要
- 2.鳥獣害被害の現状と課題  
被害軽減のための活動提案
- 3.活動スケジュール
- 4.あいプラの事業紹介
- 5.竹炭を使用した野菜・花苗作り
- 6.協力企業への訪問、依頼
- 7.竹伐採について
- 8.竹ランタン制作
- 9.竹ランタンイルミネーション
- 10.大戸マルシェ
- 11.
- 12.得られた知見
- 13.今後も継続したいこと
- 14.今後取り組みたいことの提案

# 1.大戸地区の概要

- 土地面積 : 59,644km<sup>2</sup>
- 人口 (H31/4) : 1480人  
うち20歳未満 : 130人
- 世帯数(R 2 / 1) : 681世帯
- 高齢化率 (H31/4)
  - ・大戸地区 : 47.8%
  - ・会津若松市全体 : 30.2%



## 2.鳥獣害被害の現状と課題

### 【現状と課題】

- ・ 高齢化に伴う里山保全活動の低下・竹林の荒廃
- ・ 猟友会の高齢化や後継者不足による個体数の増加



鳥獣害被害や事故が多発



住民の不安の増大

## 2.鳥獣害被害軽減のための活動提案

竹の使い道がないために荒廃 → 鳥獣害被害誘発



竹を利用した新たな魅力を創出



鳥獣害被害の軽減へ

# 3.活動スケジュール

## 【2020年度】

12月 大戸まちづくり協議会と協働して、里山に放置されていた炭窯を整備して竹炭と竹酢液をつくる

## 【2021年度】

5月 竹炭と竹酢液使った花苗・野菜作り、ロゴデザイン

7月 協力企業の募集、説明

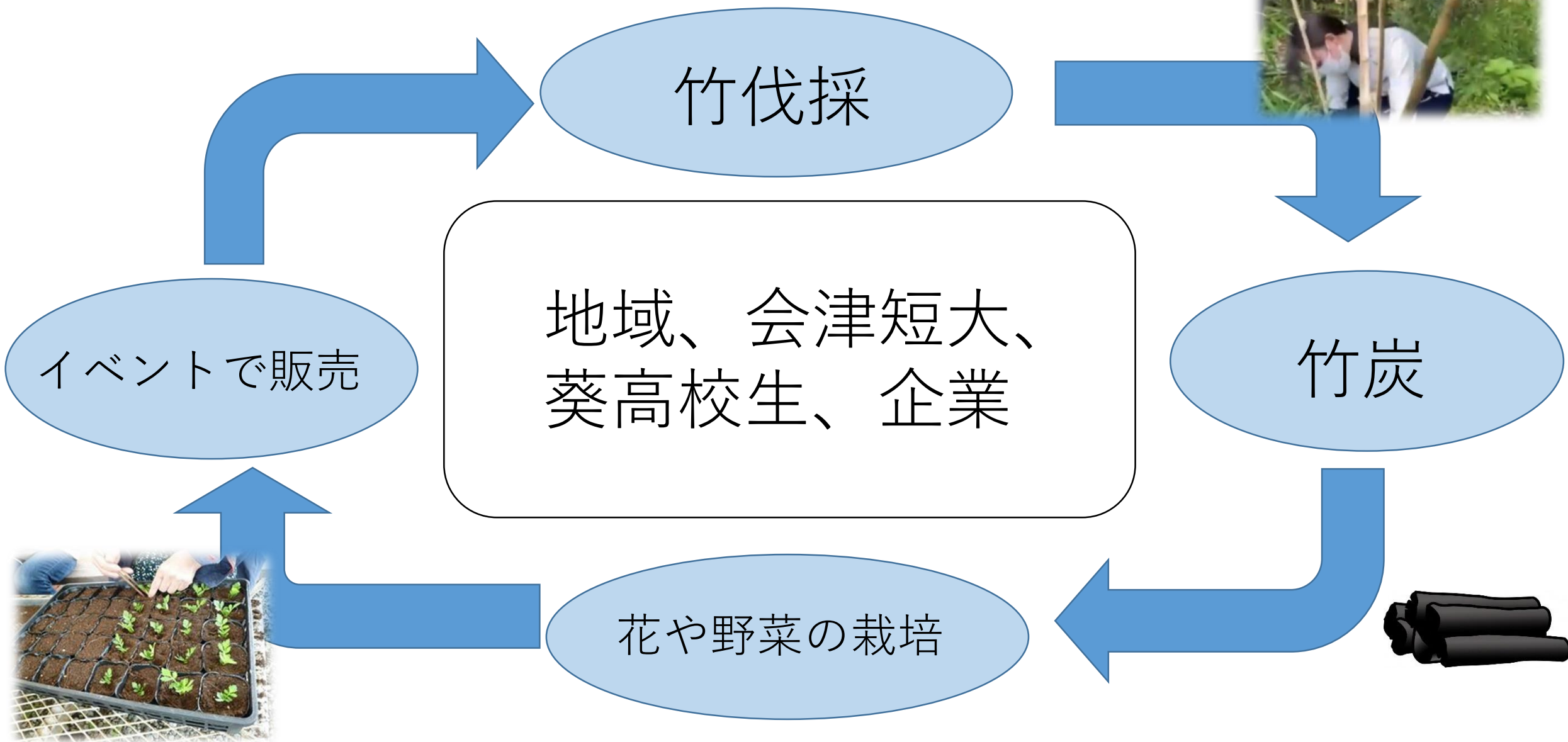
8月 竹伐採、竹灯籠づくり

竹ランタン・イルミネーション（芦ノ牧温泉駅）

11月 大戸マルシェへの協力

1月 竹を使ったプロダクトデザイン、発表会

# 4. あいプラ



# 企業さん向けのチラシ

# ロゴマーク

## 「あいプラ」協力企業募集中！

### 「あいプラ」とは？

「あいプラ」は、会津若松市大戸町で地域活性化に取り組む葵高生(葵ゼミ)と会津短大生による、『竹を使った循環型環境創造プロジェクト』です。近年大戸町ではイノシシによる被害が急増しており、荒れた竹林に生えている竹のこを求めて人里へ降りてきていることが原因の一つになっています。一方、地域では高齢化が進行し、竹林や里山の保全活動が年々困難になっていることから、私たちは、地域の人と一緒に竹を伐採し、それを炭にして、竹炭を肥料として植物を育てて販売し、その収益を再び竹林を整えるために充当する循環型プロジェクト「あいプラ」を計画し、2021年春より実践しています。

### 企業様にご協力いただきたいこと

- 「あいプラ」の普及支援、「あいプラシール」協力金のご提供。
- 主に大戸町で行う竹林保全活動、竹炭づくり、竹を活用したストラップづくりなどへの社員様、またそのご家族も含めた参加。
- 「あいプラ」野菜・花を販売する機会や場所のご提供。

※「あいプラシール」は、販売する野菜に貼るシールのことで、シールは野菜一つにつき1枚貼り、協力企業様にはそのシール1枚につき協力金として20円をご提供いたします。その20円はシール代や竹林活動費へとなり、この循環型プロジェクトを促進します。

### 活動している葵高生の声

#### 【葵高生(葵ゼミ)】

学校の活動で地元の課題や現状を知ることが出来ていい体験だなと思います。会津短大の方をはじめ多くの人と大戸の今について考える事が出来て嬉しいです。

### 地域、行政関係者の声

#### 【大戸まちづくり協議会】

竹炭には様々な効能があり、活用の可能性を秘めています。地域の環境を守るこのプロジェクトに、たくさんの方が関わってもらえれば嬉しいです。

#### 【会津若松市地域づくり課】

鳥獣害対策や里山の環境保全は市としても大きな課題です。学生・地域・行政・企業など、様々な主体が連携した取り組みを期待しています。

### SDGsとの関連性について

(SDGs該当目標)

12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
15. 陸の豊かさを守ろう

「あいプラ」の活動は以下のような点から、SDGsに該当する部分があります。

- 竹炭を肥料として活用していることから、炭素貯留農法による二酸化炭素削減につながる。
- また竹伐採をすることで自然環境を整え、また鳥獣被害の減少を目指すことから、環境保全へつながること。

#### ★問合せ・連絡先

葵ゼミ・会津短大「あいプラ」プロジェクト  
a1202022@jc.u-aizu.ac.jp (鈴木)  
0242-37-2470

会津若松市一箕町大字八幡門田1-1 会津短大内

★公式 SNS  
aipur\_a

#### ★協力

会津若松市、大戸まちづくり協議会、会津若松第3  
地域包括支援センター、福島県会津地方振興局



デザイン  
福島県立葵高等学校  
山内一輝 君



# 5.竹炭を使用した野菜作り

- 期間 : 2021年5月中旬～8月上旬  
場所 : 会津短大敷地内にある畑  
作業指導者 : 渡部琢也先生 (発育発達学)  
参加者 : 会津短大生



# 竹炭を使用した花苗作り

期間：2021年5～7月

場所：会津若松市中町まちなか  
市民広場

作業指導者：会津若松市公園緑地協会  
一般社団法人AIZU GATE

参加者：会津短大生、葵高校生



# 6. 協力企業へ訪問、依頼

- 日時 : 2021年7月20日 (火)  
場所 : 会津若松市スマートシティ  
AiCT内オフィス  
参加者 : TIS、会津短大生3名  
葵高校生3名  
会津若松市地域づくり課  
内容 : 本事業に関する内容の説明  
あいプラへの協力依頼

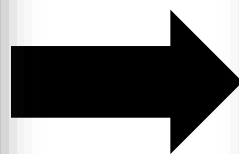
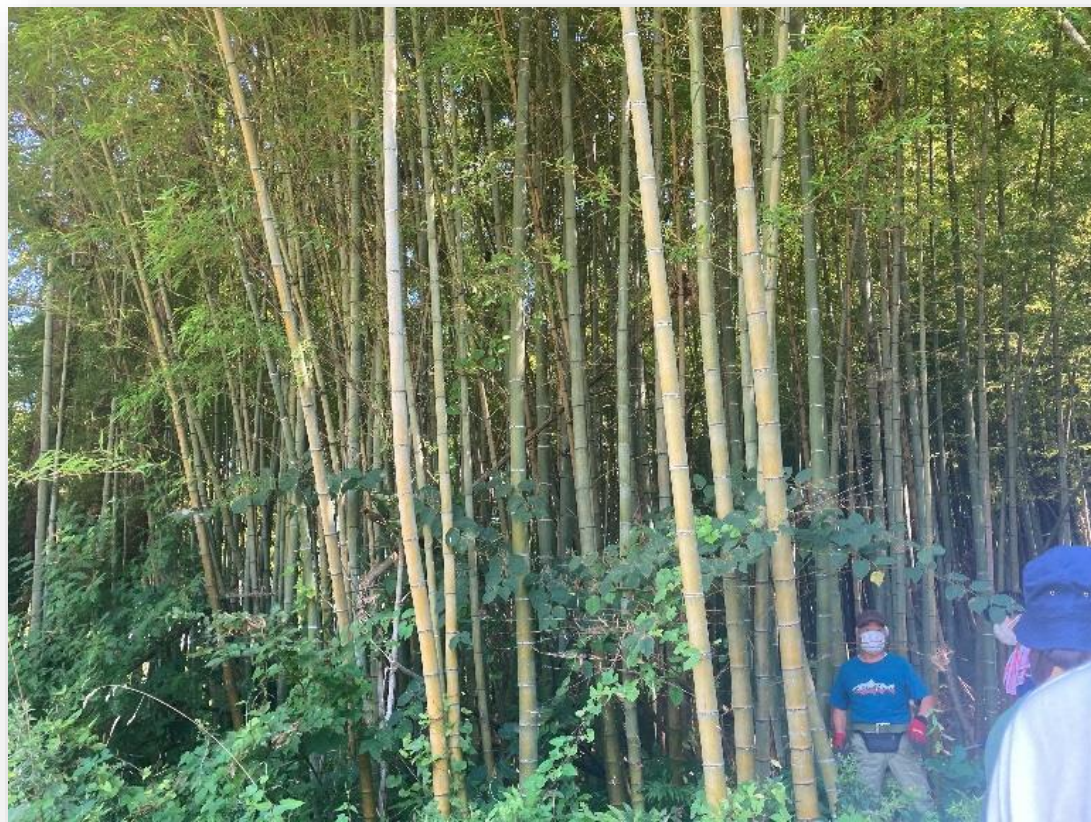


# 7.竹伐採

- 日時 : 2021年8月6日、 9月22日
- 場所 : 大戸地区、会津児童公園の裏山
- 参加者 : 大戸まちづくり協議会  
TIS社員  
会津短大の学生  
会津大学の学生  
会津若松市地域づくり課  
若松第3地域包括支援センター
- 内容 : 竹伐採  
竹ランタン用に輪切り  
竹の油抜き



# 竹林の伐採前後記録



伐採前

伐採後

撮影日：2021年8月6日（金）（竹伐採同日）

# 8.竹ランタン制作

日時 : 2021年8月10、11日

会場 : 会津短大 (木工室)

制作指導 : 会津短大 葉山亮三先生 (造形教育)

沈 得正先生 (プロダクトデザイン)

参加者 : 会津短大生 葵高校生



# 9.竹ランタンイルミネーション

日時 : 2021年 8月21日 (土)

会場 : 会津鉄道芦ノ牧温泉駅

参加者 : 会津短大生 9名

内容 : 竹ランタンのイルミネーションの装飾、PR活動



# 10.大戸マルシェへの協力

- 日時 : 2021年11月13日(土)~14日(日)  
会場 : 芦ノ牧温泉駅前  
内容 : 大戸まちづくり協議会が主催する  
活性化イベントに協力した



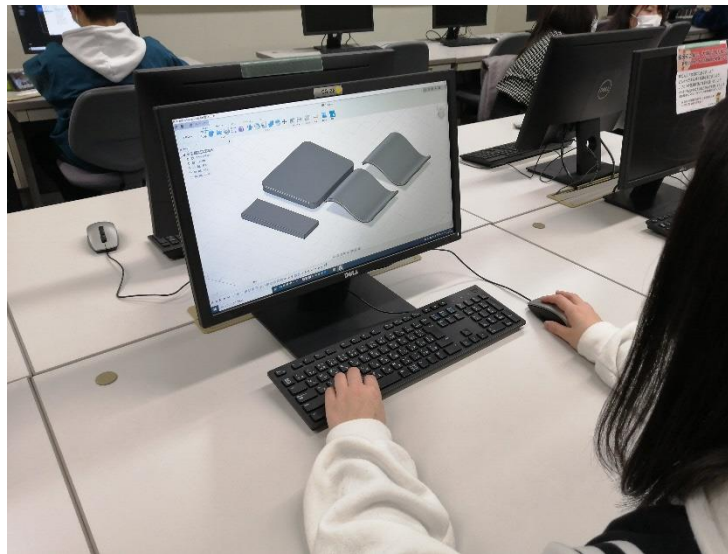
# 11.竹を使った生活雑貨デザインへの試み

期間：2021年11月25日～2022年1月27日

内容：会津大学短期大学部のデザイン実習という授業の一環として、竹という特殊な形状の材料を用い、教員と学生と一緒に考え、竹を使った生活雑貨のデザインを試みた



竹の伐採（12月9日）



アイデアの考案（12月～）



実物制作（1月～）

# 竹を使った生活雑貨デザインへの試み

## デザイン成果物



### アロマプレート

竹製のアロマプレートです。彫刻がされている面にオイルを適量たらし吊り下げて使用できます。



### アロマポットの使い方

上のプレートにチップをのせ、オイルをたらして使用します。陶器のアロマディフューザーとは異なり火や電気を使用する必要がないため就寝時にも使用できます。



上部の皿は取り外しができ、ポットの中にアロマオイルとアロマポットを収納することができます。

竹を用いたアロマポットのデザイン（Design：吉田真由子）

# 竹を使った生活雑貨デザインへの試み

## デザイン成果物



### デスクウェアのデザイン

(Design : 石田太一)



### 玄関用の小物入れの提案

(Design : 國分月那)

# 竹を使った生活雑貨デザインへの試み

## デザイン成果物

粘土みたいなお香立て



お香立てのデザイン

(Design: 半杭育子)



まる さんかく しかく

竹集成材を用いた小皿の提案

(Design: 矢野十鼓)

# 竹を使った生活雑貨デザインへの試み

## 発表会企画

大戸町地域の方々に向けた  
成果物の発表会の開催



地域の方々との意見交換



地域内で制作できるかを検討



商品化の実現

公立大学法人会津大学短期大学部  
産業情報学科デザイン情報コース・プロダクトゼミ



## 大戸の竹を使った 生活雑貨デザイン成果物の発表会!

大戸の竹からどんな作品が作られるのか、興味がありませんか？

竹という特殊な形状の材料でどのように洗練された形を起せるのか、それにどんな商品が提案できるのかを、  
教員と学生と一緒にデザインを行いました。

そして、出来上がった作品は地域の皆さんの前で発表・説明します！皆さんと一緒に鑑賞しませんか？

発表予定作品：①小皿 ②お香立て ③アロマディフューザー ④小物入れ ⑤デスクウエア

●引率教員：産業情報学科デザイン情報コース

講師 **沈得正**（シムテークチン）

●日 時：2022年1月27日（木）15:00～16:00

※受付14:30～

●場 所：大戸公民館

●定 員：先着20名 参加無料

# 竹を使った生活雑貨デザインへの試み

発表会企画

公立大学法人会津大学短期大学部



発表会企画は、1月27日に発令された福島県まん延防止重点措置及び感染拡大防止対策により中止された。

の発表会!

な商品が提案できるのかを、

一緒に鑑賞しませんか?

ディスクウェア

現在（2月7日）、オンラインによる開催を検討している。

ムテークチン)

: 00 ~ 16 : 00

地

地域

商品化の実現

●定員：先着20名 参加無料

# 12.得られた知見

- 視点を変えれば問題の原因となっていたものも有効な資源となりうる
- 住民の関心を高めるためには、商品（竹の生活雑貨、炭を使った野菜・花）やイベント（竹ランタン・イルミネーション）などを活用してコミュニケーションのきっかけをつくることが重要である
- 地域の状況を伝えることで、県外誘致企業（IT企業）なども積極的に協力してくれるようになり、新たな人とのつながりが生まれる
- 高校生も地域の課題と一緒に取り組むことで、地域の魅力を再発見でき、地域への愛着意識も高まる
- 地域運営組織、市役所、地域包括支援センターとの共同作業を通して、協働のまちづくりの意義と手法について理解することができた

# 13. 今後も継続したいこと

## 【竹炭の活用（あいプラ）】

- ・ 竹炭を肥料とした野菜や花の栽培、販売
- ・ ブランド化





# 13. 今後取り組みたいことの提案

## 【竹活用】

- 竹食器の作成、販売  
EX) 皿や箸、またその上に漆加工
- 竹のおもちゃを作成、販売  
EX) 水鉄砲、知育玩具（知恵の輪）
- 竹炭と食材等のセット販売  
EX) 肉と炭をセット販売することでバーベキュー活用



## 【VRを使った技の伝承】

360度カメラを使って、様々な取り組みの技術を撮影し、VR動画で事前学習・フィールドワークに使用する

- ・ 里山保全活動（竹伐採、竹炭づくり）
- ・ 竹の活用（皿、竹トンボなど）
- ・ イノシシ捕獲用のわな、仕掛け
- ・ 大戸町の景観（大川ダム、会津鉄道の車窓など）

